

令和3年度第1回油化学セミナー

「感染症に負けない栄養と成分」－自然免疫を高める方法－

2020年1月から日本でも感染が確認された新型コロナウイルス(COVID-19)感染症に限らず、私たちの身体は多くのウィルスや細菌の侵入を受け、疾病が起こります。これらの病原微生物による防御の仕組みとして、免疫反応があります。この際、免疫反応は自然免疫、次いで獲得免疫という順番で働きます。この自然免疫は免疫反応をコントロールする重要な仕組みですが、近年、自然免疫を高める食品などが発見されてきました。本セミナーでは自然免疫など病原性微生物のヒトへの感染症を防御する方法に焦点を当てた感染症予防に関する最新の研究を紹介します。

日時：令和3年6月28日(月)10:00～7月2日(金)15:30まで

質疑：令和3年7月2日(金)15:30～17:30

講演：オンデマンド開催

説明音声つき講演ビデオを好きな時間に見られるオンデマンド配信で行います。

質問は開講中にチャットでお気軽にお寄せください。

質疑応答：各講師によるウェブ会議(充分、通信速度が確保される状態でご視聴下さい。または、視聴中のチャットをご活用下さい。)

チャットに寄せられた質問を中心に講師がTV会議でお答えします。

主催：公益社団法人 日本油化学会関東支部

協賛：公益社団法人 日本化学会

プログラム(演題および講師)

開会の辞

講演① 免疫力に寄与する機能性成分のエビデンス情報をどう読み解くか

日経BP 日経バイオテク シニアエディター 河田 孝雄 氏

日本の機能性表示食品の制度にて2020年夏、麒麟の「プラズマ乳酸菌」について「健康な人の免疫機能の維持に役立つことが報告されている」旨の機能性表示の届け出が受理された。アジアではシンガポールとタイにて「免疫」のヘルスクレームが認められているようである。乳酸菌などプロバイオティクスやビタミン類、キノコ成分、母乳成分などに関する免疫関連のエビデンス情報をどう利活用できるかを紹介したい。

講演② パントエア菌由来リポポリサッカライド(LPSp)の経口・経皮投与による自然免疫制御機能を活用した健康維持戦略(将来展望も含めて)

自然免疫制御技術研究組合 代表理事、新潟薬科大学 健康・自立総合研究機構 客員教授
杉（そま）源一郎 氏

LPSp は経口・経皮投与で安全に自然免疫機能を制御し、認知症・感染症・生活習慣病予防など多面的な効果を示す。つまり LPSp は健康維持機能を持つ。本演題では LPSp の将来的有用性も含め概説する。

講演③ 納豆菌の特徴と、納豆菌 TTCC 903 摂取による免疫調節作用

タカノフーズ 納豆研究部門 納豆研究開発 池澤 将也 氏、渡辺 正樹 氏

古来より、納豆には免疫力を高める作用があるとされ、最近では様々な科学的根拠が明らかになっている。本演題では、納豆菌の持つ特徴に加え、抗アレルギー作用、抗ウイルス作用などについて紹介する。

講演④ 手指生来の感染防御力に着目した新しい手指衛生の提案

花王パーソナルヘルスケア研究所 眞鍋 憲二 氏

手指が生来持つ感染防御力に着目し、感染症の罹患性との関係や、その作用メカニズムを解析し、生来に倣った方法で手肌の不活化効果を高める新しい Leave-on 手指衛生製剤の開発を目指している。

閉会の辞

参加費（テキスト代を含む）： 銀行振り込みにてお支払い下さい。

日本油化学会・日本化学会個人会員	5,000円
日本油化学会・日本化学会法人会員	7,000円
一般	10,000円
学生	2,000円

申込方法：①氏名、②所属、③連絡先（住所、電話番号、E-mail）、④会員資格（個人会員の場合は会員番号もお願いします）を明記の上、E-mail にて下記宛てにお申し込みください。

申込締切：2021年 6月 14日（月）

オンデマンド配信の人数上限（約 300 名）に達しますと、締切の場合がございます。

申 込 先：株式会社資生堂 宮原 令二

e-mail: reiji.miyahara@shiseido.com

参加費支払方法：

参加費は、申し込み後に銀行振り込みにてご送金ください。なお、送金手数料はご負担ください。

送金先：三菱UFJ銀行 八重通支店・普通口座 0703971 公益社団法人日本油化学会関東支部

新型コロナウイルス感染予防のため、緊急の対策を取らせていただくことがあります。油化学HP (<https://jocs.jp/oil-multi/kantosibu/主催セミナー/>)でも適宜ご案内致しますので、ご確認いただきますようお願い致します。

また、お申込の方にはメールでも連絡致します。